

減税日本ナゴヤ REPORT

令和7年度予算が 2月定例会で 可決成立しました。

令和7年度の予算では、「名古屋市総合計画2028」で示されている「5つの都市像」の実現に向けた取り組みを進めます。さらに、少子化対策などを盛り込んだ「重点戦略」のほか、「成長の原動力」となる先行投資を積極的かつ戦略的にを行います。



重点戦略

- ① 結婚・子育てを社会全体で応援
- ② 子ども・若者の希望や夢を社会全体で応援
- ③ ともに支え合い活躍できるまちづくりの推進
- ④ 安心・安全な暮らしの確保
- ⑤ 環境と経済の好循環で成長する都市

成長の原動力

- ① アジア・アジアパラ競技大会のレガシー形成とリニア時代を見据えた投資
- ② 最先端のデジタル都市の実現に向けた投資
- ③ 新たなエネルギーによる産業活性化に向けた投資
- ④ 未来を支える人材を育む「人」への投資

令和7年度 減税日本ナゴヤから市政への要望

都心部駐輪場の体制整備	電気バス導入に向けた運用面・コスト面の検証	子どもの体験活動拠点の設置と学校におけるキャリア教育を両輪で推進	火災予防関係事務でのキャッシュレス決済導入とDXの推進
インターネットを利用した水道料等お知らせサービスの検討	禁煙希望者支援事業の利用者増加に向けた工夫	貴重な一般財源である宝くじの売り上げ向上	小中学生起業家人材育成事業のプログラム内容の充実
メーグル名古屋駅・名古屋城直行便の増便	市職員の人材育成のための取り組みの推進	eスポーツの福祉関連支援への活用、振興	可燃ゴミの夜間収集のモデル実施の検討



広沢市長のマニフェストに沿って 豊田かおる議員が代表質問を行いました。

代表質問は、各年度の当初予算が提案される2月定例会において、市長の市政運営方針や市政全般に対し会派を代表して行う質問です。



① 超高齢社会における敬老パス利用料の値下げについて

質問 アンケートでは敬老パス利用者の9割が健康に役立つと回答している反面、利用者の平均年齢が高くなるのに伴い、一人当たりの平均利用回数は下がってきている。市長公約の敬老パス利用料の値下げは敬老パス交付率の増加のためにも有効な施策と考えるがどうか。

答弁 後期高齢者の平均利用回数は前期高齢者より2割程度少なく、高齢になるほど利用回数が減り、負担金額ほど利用しなくなることを理由に交付を取りやめることはあると考えている。利用料の値下げが敬老パス利用の契機の一つとなると考えており、令和7年度には市民アンケート調査などによる検証を進めたい。(健康福祉局長)

② 子どもたちが行きたくなる学校づくりについて

1. 魅力ある学校づくり

質問 不登校児童生徒数は増加傾向にあり、子どもたちの精神的幸福度の低下が危惧されている。すべての児童生徒にとって学校が楽しく、安心して学習・生活できるような「行きたくなる、魅力ある学校づくり」をどのように進めていくのか。

答弁 「ナゴヤ学びのコンパス」を策定し、幼児期から青年期まで一貫した「子ども中心の学び」を推進、授業改善を進めている。さらに、不登校児童生徒への新たな支援方策として「なごやハートプラン」の策定を予定している。(教育長)

2. 教職員の意識改革や子どもへの組織的な支援

質問 学校教育や教育方針、画一的な子ども観の転換を図り、子どもの存在をきちんと捉える考え方に変えることが重要。「行きたくなる学校づくり」を支える教職員の意識改革や子どもへの組織的な支援にどのように取り組むのか。

答弁 「大人が教えない限り子どもは学ばないし、学べない」という子ども観からの転換が必要。学習会などを通じ、教職員の意識改革に引き続き取り組む。また、専門家と教員が「チーム学校」として教育的、心理的、福祉的に子どもを支援していく。(教育長)

③ これからの名古屋市をつくる人材について

1. 職員採用試験制度の改正

質問 令和7年度より適性検査の導入や社会人枠の設置など、職員採用制度が大幅に改正される。この制度改正のねらいと期待する効果は。また、「選ばれる市役所」を目指すために、名古屋市の職員の仕事の魅力をどのように発信していくのか。

答弁 制度改正をきっかけに、今まで公務員を選択肢としていなかった層を呼び込み、多様で有為な人材の獲得につなげた。また、転職者層や技術系人材に向けた新たなパンフレットの作成やSNS広告の活用など、広報手法の充実を図る。(人事委員会)

2. 市職員の人材育成

質問 ますます多様化する行政課題や市民ニーズに対応できる人材の育成・能力開発のためには、職員が自ら、新たなことに挑戦する意欲や成長する意欲を持つことができる組織づくりが大変重要であるとするが、どのように取り組んでいくのか。

答弁 職員の意欲を喚起することができる組織づくりは、職員の主体的な人材育成を促すために重要であり、管理職による心理的安全性の高い職場環境づくりが必要と考える。令和7年度は課長職のマネジメント力の強化を図る新たな取り組みを行う。(総務局長)

④ 本市における女性の活躍推進について

質問 名古屋ウィメンズマラソンと国際女性デーにあわせて、市長公約である「なごや女性ウィーク」をぜひ実現してほしい。海外からのマラソン参加者や観光客が多く訪問する機会に、民間にも働きかけ、市全体で女性活躍推進の機運を盛り上げてはどうか。

答弁 女性活躍推進は、私の目指す「みんなが輝く名古屋」の実現にも必要と考える。国際女性デーに私が自らメッセージを発信することに加え、来年度のマラソンフェスティバルナゴヤ・愛知に向けて、さらに取り組めることがないか検討したい。(広沢市長)

▶ 令和6年11月

田山 宏之

北区



11月定例会では田山宏之議員が登壇しました。
詳細・答弁については前号広報紙に掲載されています。



0歳児からの
保育料完全無償化

敬老パス
利用拡充

市長給与800万、
退職金ゼロ

市民税減税
10%実現

市立中高一貫校
設置

名古屋城
天守閣木造復元

▶ 令和7年2月

佐藤 ゆうこ

東区



東区役所の整備

質問

①「愛知大学車道校舎活用は新築にかかる費用の6割で整備ができる」としてきた説明は誤りではないか。②愛大敷地内における新築の場合でも、校舎を購入することやアスベスト除去費用を本市が負担する理由は。③区役所整備において土木事務所を複合することは絶対条件か。④東区の全区政協力量員長が「区役所は新築で」との要望書を市長、スポーツ市民局長宛に提出している。市長はこの要望をどのように受け止めているか。

答弁

①土地建物の取得費用、その他経費やアスベスト除去費用等は考慮していない。②愛大から車道校舎の活用案を頂いたため、土地と建物を取得する前提である。アスベスト除去費用は校舎取得となった場合に大学と協議する。③「条件が整った場合」であり、絶対条件ではない。④区政協力量員長からの新築要望は重く受け止める。現地建替、車道校舎での新築、車道校舎の改修、現庁舎の改修の4案を住民説明会で示し総合的に判断する。(市長・スポーツ市民局長)



▶ 令和7年2月

永井 ゆり

緑区



放課後等デイサービスと子ども施策との連携

質問

障がい児の保護者の就労支援や義務教育期間における障がい児のインクルージョン推進のため、市内すべての放課後等デイサービス事業所が国のガイドラインに沿って学童保育所等との連携を進めていくべきではないか。子どもの頃から障がいの有無に関係なく、すべての子どもが共に学び共に育つインクルーシブな環境で過ごすことは、子どもの成長にとって学びがあると考え。新たな保護者同士の交流やつながりも期待できる。市として取り組む考えは。

答弁

インクルージョン推進の観点から、学童保育所等との並行利用や地域の子どもの交流などの取り組みが必要であると認識している。今後は「放課後等デイサービス事業者に対する運営指導の機会を活用し、学童保育所等との交流や連携の状況、現場の課題を把握する」「事業者向け研修において既に連携を行っている取り組み事例を紹介する」等、各事業者がガイドラインに沿った運営ができるような具体策を検討する。(子ども青少年局長)



▶ 令和7年2月

大田 とみひこ

西区



西の丸御蔵城宝館への誘客策

質問

4月末より、西の丸御蔵城宝館では特別展「写された名古屋城」が開催される。これは徳川家14代当主徳川慶勝公自身が撮影した大変貴重な名古屋城の写真である。一度の展示で終わらず、慶勝公の撮影した貴重な資料の存在や調査研究の労力と成果をもっと知ってもらい、多くの方に見ていただきたい。また名古屋城とともに御蔵城宝館にも多くの方々が訪れるよう、今後も引き続き様々な形で魅力を発信していく方策を練り、広報を充実していきたい。

答弁

慶勝公が撮影した「徳川慶勝撮影写真帖」は公益財団法人徳川黎明会が所蔵する門外不出の写真である。徳川黎明会には名古屋城に関する重要な資料があり、今後の各種事業でも活用できるよう、密に連携していく。西の丸御蔵城宝館の入場者は名古屋城入場者の1～2割に留まっており、より多くの方に来ていただける工夫をしていきたい。また次世代に継承していけるよう調査研究を続け、その成果を市民に還元できるようにしたい。(観光文化交流局長)



▶ 令和7年2月

大谷 ともひろ

緑区



名古屋版キャリアパスポートの作成

質問

キャリアパスポートは文科省の例示資料を基とし、各地域・各学校の実情に応じた教材の作成が求められている。キャリア教育も同様に、本市でも全中学校が独自の取り組みを行っているが、その基礎は本市独自のキャリア教育施策を包括したものであるべき。本市のキャリア教育に即した「名古屋版キャリアパスポート」を作成し、各学校がカスタマイズしながら活用できる仕組みを作ることがキャリア教育の推進に重要と考えるが、今後の方針は。

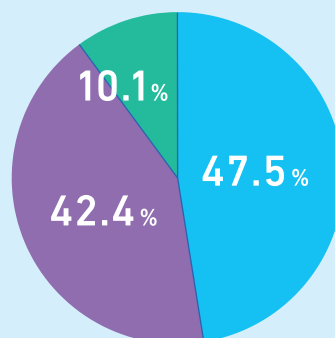
答弁

キャリアパスポートは児童生徒が自らの成長を実感し、主体的に学びに向かう力を育むことにつながるものであり、学びの振り返りや継続のうえで重要なもの。年度始めや学期末、行事の機会等に、見通しや振り返りを行う内容に加え、本市の重視する「本物のヒト・モノ・コトとの出会い」に関する内容も盛り込むなど、本市で推進しているキャリア教育の内容を踏まえ、各学校で有効に活用できるような名古屋版のキャリアパスポートを作成していく。(教育長)



●インクルージョンの実現に向けた一般施策との連携について

学校や放課後児童クラブ等との連携等について具体的な対策をしていますか？



- 連携はできていない
- 連携はしているが具体的な対策はできていない
- 具体的に対策をしている(関係機関連携加算)

名古屋市内の放課後等デイサービス事業者へのアンケートより抜粋
(令和7年2月調査)

※アンケートの詳細は公式サイトをご覧ください。

O-EN会議

平成5年度より「O-EN会議」と名付けた市民の皆さまとの意見交換の場を設けています。
おおむね年4回を目標に開催しています。

1/20
開催
番外編



令和7年、私たち減税日本ナゴヤ議員は何をする。

今回のO-EN会議は令和7年初ということで、会派議員全員が集合し、昨年の振り返りと今年の抱負を語り合う「番外編」となりました。昨年末、「今年の漢字」を全員が会派Instagramで公開した話題から会議はスタート。笑顔でリラックスした雰囲気の中振り返りは進み、その後今年の抱負として、議員一人一人の市政への要望・課題、取り組んでいる活動の現状や悩みなどを率直に語り合いました。なかなか全員でゆっくり話し合える時間が持てないなか、お互いの想いを共有する貴重な時間となりました。動画はそのダイジェストですが、議員たちの熱い思いは伝わってくると思います。ぜひYouTubeチャンネルで生の声をお聞きください。



減税日本ナゴヤ市会議員と名古屋市民をつなぐ 1分アンケートVol.3

テーマ
「防災」

市民の方々のリアルな防災意識を調査するため、今回はInstagramを利用してアンケート調査を実施しました。ここでは主な回答結果と自由記述でお答えいただいた声をご紹介します。みなさまのご意見は、今後の市政に活かしていきたいと思っています。

結果報告

災害に備えた
非常持ち出し用品を
準備していますか？



はい **69.4%** いいえ **30.5%**

近所の避難所を
知っていますか？



はい **91.8%** いいえ **8.2%**

★アンケートの詳細は公式サイトをご覧ください。

みなさまの声

災害に対して不安に思うことは何ですか？

- 家族がバラバラになること。
- 避難を強いられた際の生活の質の確保。
- 水の確保。障害のある方（親族にいます）への対処。
- 出先で被災した場合、最低限の持ち出しグッズ（防災ポーチ）しかないこと。
- 名古屋市は南海トラフエリアなのに全く危機感がない。
- 学区の役員の女性が少なく、女性の意見が届くのか？と思います。
- 今は特にありませんが、不安になりすぎないようにしています。
- ペット同伴での避難ができるかどうか？ など

私たち
減税日本ナゴヤの
メンバーです。



政審会長
大谷ともひろ
(緑区)

幹事長
豊田かおる
(中区)

団長
田山宏之
(北区)

副団長
大村光子
(昭和区)

副政審会長
永井ゆり
(緑区)

広報委員長
大田とみひこ
(西区)

財務委員長
佐藤ゆうこ
(東区)

幹事
鈴木孝之
(天白区)

減税日本ナゴヤ
公式サイト

会派の
最新情報はこちら

YouTube
チャンネル

ぜひO-EN会議の
様子をご覧ください。



Instagram

会派スタッフが
不定期更新中!!



ご意見をお聞かせください。

市政へのご要望、お困りごとなどなんでも結構です。

(FAX)

052-972-4570

WEB
フォーム

